

明るく元気の出る町

平成11年2月1日発行・毎月1日 編集・発行／秋田県東由利町役場企画課

広報

ひがしゆり

HIGASHIYURI

東由利町

1999 **2**
NO.527



御嶽神社冬祭り
梵天奉納



町イメージ
キャラクター
「モウ太くん」



新春に町長と町づくり語りあう

新春 町政座談会

新春恒例の座談会（移動町民室）が一月四日から八日まで、公民館の七分館主催で開かれました。

この座談会は地域町民の声を町政に生かそうと、毎年明け早々に行われているもの。各分館からは今年の町づくりに対して活発な意見や提言がなされました。

各会では最初に阿部幸悦町長が、平成十年度の事業、今年予定されている事業、課題、抱負などについて町政報告を行い、その後各分館の皆さんと「明るく元気が出る町づくり」を語りあいました。

以下、座談会内容について抜粋しながら紹介します。

法内分館

克雪管理センター

一月四日・30人出席

の設置工事を計画されたい。

答 法内は水は十分あるのでよいが、県事業となるので順番があり、機会をとらえ要望はしていく。

問 小倉地区に共同墓地が二カ所あるが、水道がないので町で水道を上げてもらえないか。

また、ゴミ処理のこともある。

答 水道は、建設課水道担当に相談してもらえば、明るく元氣の出る活動支援事業の企画課とで横の連携をとるが、水道料金もあり地区で相談をしてほしい。ゴミについては、ダイオキシン問題で、焼却炉設置については難しい。

問 八沢木線の進捗状況は。

答 東由利分は出来ている。大

問 十二ノ前に除雪車が上がるように道路改修を。

答 測量はしている。ふれあい

問 十二ノ前に除雪車が上がるように道路改修を。

答 測量はしている。ふれあい

道路ではやれないので何の事業でやるか探している。

問 高村会館に行く道路をできるだけ早く改修してほしい。

答 調べてみる。

問 新処線農道を引き続き舗装してほしい。

答 十一年度に舗装完了。

問 法内地区の下水道整備はいつ頃になるのか。

答 十二年度で老方地区が終わる。次が蔵／宿／法内の予定ではある。



▲法内分館座談会（1月4日）



問 桧沢線の舗装を。

答 林道舗装には条件があり、全面的には今のところ無理がある。穴などは補修していきたい。

問 自治会等で町内巡りを計画した場合、又は分館が計画した場合、予約制を取り入れた、町バス借上げ申請はできないか。

答 今もやっている。提案があれば対応、早めに申請してほしい。

問 新処地区に流雪溝

テレビの電波状態を改善できないか

住吉分館 八塩館

一月五日・32人出席

問 県道羽後向田館合線開通の見通しは。

答 集落の前後は雪害事業でやった。中を何でやれるか検討中である。家屋移転のからみ、路線を変えたい県の意向もあり、難儀をしている。由利土木、雄勝土木、羽後町との協議はなされているが、少し時間がかかるようだ。来年再来年での完成は無理と考えている。

問 旧住吉小学校跡、建物の今後の方向性は。

答 学校の役割が終われば本来は取り壊すべきものと考えている。笹山グラウンドも整備しているが、福祉館も古くなってきているので、運動場も兼ね備えた拠点となる施設を平成十一年度中に整備したいと考えている。

問 八塩ダム周辺の開発の中心について教えてほしい。

答 ダムの整備も完成間近だ。遊歩道・オートキャンプ場・センターハウス・駐車場・パークゴルフ場(予定)などであり、平成十二年度あたりに完成の予定となっている。また、新しく設置した配水池近くに建設業協会がログハウスを建てて寄贈される予定となっ



▲住吉分館座談会(1月5日)

ている。

問 プール跡地の考え方は。

答 今のところ何も考えていない。駐車場など一番いい使い方を提案してもらえば検討したい。

問 住吉小跡地につくる建物などは自由に使えればよい。できれば老人は無料で。

答 トイレ等は外からも使えるようにする予定だ。

問 住吉黒淵の道路はよくないが、老人は車の運転ができないので、歩道と街灯の設置をお願いしたい。

答 街灯はかなり増やしてきて

いる。集落内の電気料は自治会負担で、集落間は町で負担している。四月の自治会長会議で場所についての要望を出してもらっている。設置箇所を教えてほしい。道路に歩道は必要なものとなってきているので、県に要望するが、時間がかかる。

問 診療所が閉鎖されて建物も取り壊すと聞いているが、老人クラブに使わせてほしい。

答 地元の皆さんが管理をする。とすれば、電気・水道料金等を町で負担して、皆さんに使ってもらって、管理状況を見たらうで判断したい。

問 石高川の災害復旧工事のあらましを教えてください。

答 山林、田圃関係者が三人。用地関係については了解を得ている。速急にやるには河川災がよいということ。県で本省協議を行い、査定の結果河川災での工事となる。山は動かさないで、押さえる盛土工事となる。内示が出れば発注となる。早くできるように県に要望をしている。

問 玉米財産区がなくなると聞いたがどういうことか。

答 町で管理していくということ。百年間は切らないで、伐採時には玉米地区の為に使ってほしい

という要望もあった。

問 拾い上げられていない小災害が多数あると思うので、よい方法で取り上げてほしい。

答 大きい災害には補助があるのに、対象にならない小災害には何もないということに問題はある。町単独の予算を三、四百万円

とっているが、緊急性の高いものからということをやっている。評判がよく追加補正をしたりしている。補助災害の設計委託料は町単であるという関係もあり、内部検討している。

問 新沢の奥の水源涵養保安林が毎年枯れ倒れており、だめになるのでないか。

答 許可を取って伐採はできる。手入れも必要だと思ふ。

問 若者育成ということ、仮称、黄桜太鼓でも設立したいが、そのための太鼓がほしい。

答 宝くじ助成要望してみる。

問 減反のため荒らされる田圃に杉の植林でなく、観光をメインとした環境整備構想を。

答 試験的にソバを植えている。今、米だけではだめなので、花も見られるようにということで、ソバを植えることができないかと提案している。

蔵分館 大蔵館

一月五日・40人出席

問 蔵簡易郵便局前の丁字路に案内標識を設置してほしい。(再確認)一時停止の標識もなくなっている。

答 案内標識は十一年度に設置する予定だ。一時停止は公安委員会の方にお願いしてみる。

問 岩館バイパスもようやく具体化し、着工も間近とのこと。楢淵横渡線とは立体交差になるとのことだが、冬の路面凍結による危険度合いが増えるのではと心配している。



▲蔵分館座談会(1月5日)

旧住吉小跡地、建物の今後の方向性は

館前三階造りの跡地についての考えは

答 実測の成果品を見て地元

説明したい。冬期間の凍結につ

てはそれなりの対応をすると思

う。小田の農道とすりつけとなる。

前伊東建設課長の所へ出る。工事

は横渡側から始まると思う。

問 黒沢トンネル出口の法面

崩落箇所の対策、若林・寺山堤

の復元、この二点についてその

後の見通し等について。

答 危険であるので、県の方に

安全面から是非とお願いする。

堤の復元は現実に緊急性がな

いことと受益者負担が伴うことと

なるので大変だと思う。(前に大

琴地区を含めて不要だということ

で一筆もらっている経緯がある)

町単では容易でないで、何か

補助事業にでも該当しないか検討

させてほしい。

問 利久(島)さんの前の農

道の所が砂利道のため除雪しに

くいで舗装してほしい。

答 よく使われる所から順次や

っているので少し待ってほしい。

問 藁沢の崖の木が雪の重み

で道路に落ちてくる危険があ

る。何とかできないか。

答 由利土木事務所にも見ても

らっているので対応をしたい。

問 藁沢の堤からの水路の擁

壁にひびが入って危険だ。受益

面積も四町歩位で大変だ。

答 前問と一緒に見ている。

問 岩館水路のU字溝を資材

をもらって設置したが二十万円

ほどかかった。事業計画書を出

したが補助対象外と言われた。

答 ルールの中で可能か検討さ

せてもらう。

問 岩館のいちようの管理は

どうなっているか。また大型が

利用できるくらいの駐車場の整

備はできないか。

答 毎年予算の範囲でやってい

るので、出役した場合は生涯学習

課と連絡を取り合っている。駐

車場は必要だと思うので検討す

る。

問 岩館坂の拡張工事はいつ

頃になるのか。

答 県でも見ているが、バイパ

ス工事が先行する。

問 洞門の掘割の上の水路は

どうなっているのか。

答 今のトンネル工事関連では

どうにもならない。雪消後見てみ

る。

問 工藤呉服店脇の町道除雪

のボランティアに謝礼を出せな

いか。

答 流雪溝組合の除雪機の設置

はそれらを含めたものと思ってい

る。

問 介護保険が始まればヘル

パーを増員するのか。

答 現時点では無料以外の需要

が少ない。需要の状況を見て介護

保険は一割が自己負担となる。

玉米分館 玉米会館

一月七日・41人出席

問 町道台山線(館合地内)

に流雪溝を設置してほしい。

答 議会で陳情が採択となっ

た。しかし、水量の関係がある。

地区で水の解決がなされればよい

と思っている。趣旨については理

解した。

問 五海保バイパスに通じる

農道を舗装してほしい。

答 昨年保育園の所は舗装し

た。ここもよい道路なのでいずれ

は舗装したいと思っている。

問 正午の時報を十一時三十

分に変更してほしい。

答 いま夜の九時の時報は休ん

でいる。時代の流れもあり、他の

市町でも正午が普通である。後で

意見を聞いてみたい。

問 館前のシンボルの三階造

りの跡地利用を考えてほしい。

答 まず、保育園に通じる道路

の拡張等を含めた跡地利用を考え

て行きたい。提案としては、上に

水があるので公園的に活用したら
と検討している。

問 一〇七号館前バイパス起

点の空き地管理について。

答 地元の協力を得て花でもと

思っている。花苗の支給をするの

で協力をよろしく。

問 十一年度館前地区下水道

着工について説明会の開催を。

答 説明会を開き手順をしっか

り決めたいので出席してほしい。

問 国道三九八号改良につい

て

答 国道になって工事が止まっ

ている状態だ。限られた予算の中

でやっているのので少し時間がか

る。引き続き県に要望していく。

問 民生委員の家族

より秘密が漏れないよ

う強く要望する。

答 基本的にプライ

バシーは守られなけれ

ばならない。民生委員

も公務員同様に守秘義

務が課されている。

問 町独自の景気対

策を行っていたら教え

てほしい。

答 国県挙げて取り

組んでいるときでもあ

るので町でもっている

事業の早期発注を含め

て対応している。中小

企業に対する融資改善

や、農業振興として野

菜・米・牛農家にも町でできる
範囲で手厚く支援している。

問 五海保集落で流雪溝の

恩恵に浴していない世帯が七

戸あるが、水路があるので常

時水を流してほしい。

答 後で現場を見てみる。

問 暗渠排水の機能回復を

図る機械を整備してほしい。

答 基本的には維持経営の一

端であると思う。少し考えさせ

てほしい。

問 県営圃場整備事業施工

から二十五年にもなる。維持

管理が容易でないで壊れた

所から町で補修するなどでき

ないか。



▲玉米分館座談会(1月7日)

老方分館 老方館

一月七日・28人出席

答 土地総て農道・水路の整備をやっており、手を挙げたところは終わりとつある。組立差工の壊れた所は把握している。受益者負担（一五％）で農地の集積があればすぐにとはいかないが何らかの方法はある。

問 湯出野の時のように火災発生情報は継続してほしい。水道工事の時の給水止めの情報もやってほしい。また、結果（鎮火等）の情報もだしてほしい。

答 出すようにする。給水止めについては、地区毎ということもあり難しい。

問 須郷田集落で流雪溝の出来ていないところに早く流雪溝設置してほしい。

答 前から県にお願いはしているが困難だと言われている。引き続きお願いする。

問 松食虫の発生が進行してきている。カンナ平の周辺が特に多いのでそれが影響しているのではないかと多発地区の現場を見てほしい。

答 毎年三、四百万円の予算で、五十、六十本処理している。現実的には発生後の伐採ということで、後処理の形となっている。ヘリの一斉防除は容易でない。



▲老方分館座談会（1月7日）

お願いしている。今は防雪ネットに対応している。

問 寺田地内天神公園の農道を舗装してほしい。また、取り付けの橋を拡張できないか。

答 原材料を支給するので氏子の人達で少しずつでもやってほしいと、いつも同じことを言っている。

願っている。また、橋については舗装の方を自助努力した後のことにしてほしい。

問 テレビ塔までの道路を舗装してほしい。

答 急な所は舗装しているが、少しずつ手入れをしていきたい。

問 老方地内に通年車の交通可能な非常道路の設置を。

答 由利アパレルの所だとすれば私有地のため容易でない。採石を敷いたりしている。

問 横小路角の流雪溝分水板のネジ棒が雪詰まりの原因となっている。

答 県でも現状は分かっている。何かよい方法がないか調べている。

問 旧老方小道路に流雪溝の設置を要望してきたが、現在の水量では困難といわれている。地域住民の根強い要望を参酌のうえ、将来、水量確保と併せて

設置計画されるよう要望する。

答 蓋付きのU字溝整備はしている。大堤の整備は終わったが水が足りない現状だ。足りない分を時間差をつけてポンプアップでもしてと内部検討をしているが、いつやるかは言い切れない。

問 役場新庁舎の考えは。

答 古いけれども手入れがよいので使用に不便は来していない。ただ、少し狭いこととパソコン時代となり、電気容量が不足気味だ。プロジェクトをつくって構想を練っている。基金も四億を超えているので、現在地を中心に、いい場所があれば土地取得も含めて、十億くらいで事務所的なもので進めたいと思っている。

問 湯楽里の側が明るくなり、老方が暗くなってきたように感じる。信用金庫と郵便局の通りに照明を点けてほしい。また、駐在所も移動するという。何か目的はあるのか。

答 照明については了解した。駐在所は、一〇七号沿いの広い場所に出たいということ。駐在所の裏あたりを利用するのが老方の発展に必要なと思う。

問 農協へ行くときに、信号から農協までの間に歩道がない

のでなんとかならないか。

答 国道なので手をつけられないので県にお願いする。もしやれなければ、自費施工の許可を受ければ町でやれる。

問 両善寺線の片側が未完成。除雪もできず、町で用地取得をして早く直してほしい。

答 用地の協力を得られないものについては町ではやれないのが実情だ。何とか土地については協力をしてほしい。

問 湯出野の坂が滑って危険だ。自分たちで散布すると言っているので融雪剤をもらえないか。

答 代表者の家に届けるので、誰が代表者であるか役場に連絡してほしい。

問 湯出野は秋になると水不足となるので、消火栓をもう一本増設してもらえないか。

答 基準は基準として、持ち帰って後で回答する。

問 人を集めるために湯楽里の後ろあたりにバッティングセンターとかゴルフ練習場をつくる考えはないか。

答 ゴルフ練習場は板戸の土取場がよいと言われているが、民間でやれないか。

役場新庁舎についての考えは



▲袖山分館座談会（1月8日）

袖山分館

袖山館

一月八日・14人出席

問 水道の水質があまりよくない。ダムからの水道が早くくるようにしてほしい。

答 担当に見てもらおう。将来的にはダム配水池からのボツメキの水が使えるように思っている。

問 災害復旧を早期に。

答 全部発注済（畠山勉さんの所以外）なので春までには完成する。小災害については基本的には自分の田は自分で守るということ、町単補助を使ってやってほしい。

問 仁賀保矢島館合線の矢島町側がよい道路になってきているが、東由利側の見通しは。

答 鳥海観光ルート的一端と考えている。矢島町側に地滑りが発生したため止まっている。路線選択のこともあり遅れている。今可能性がある現道舗装整備を第一にということに要望している。

問 大吹川第一水路の路肩が大雨の時に水が一気にくるので三段階に十メートル位落ちた。

答 上流部は災害で採った。春先に業者から見積をとって相談にきてほしい。

問 黄桜の里をアピールするため、道路端（道路敷残地）に桜の植栽をする計画はないか。

答 街路樹としては、年間を通しての花や色の長持ちするものと考えている。桜については八塩いこいの森にということを進めている。自治会など地域の皆さんがまとまって桜公園づくりなどのため植栽するとすれば、明るく元気の出る活動支援事業として補助を行っている。

問 八塩いこいの森整備は年間を通して活用できるようなものにしてほしい。

答 八塩元気クラブではスノーモービルの試乗会などを行ってのもので、年間を通しての活用という思いをしている。

宿分館

高瀬館

一月八日・26人出席

問 宿河川公園にトイレ設置を。また、川の兩岸を結ぶ橋（太鼓橋風）があるといい。

答 県単事業であり、予算も厳しいので県ではトイレは作れないが、十一・十二年度中に町でやりたいと思っている。橋については安全性もありできない。

問 童画トンネル、銀河トンネル内でラジオの受信ができるようにしてほしい。

答 要望はしている。

問 「湯楽里」の建物のイメージが暗く、入りにくいという声が町外の人から聞かれる。

答 玄関は暗い感じはするのですが、スポットライトを考えたがまだやっていない。あまり派手な色もどうかということもあるし、よいとも言われているし、色についてはあまり気にしていない。

問 高校バス通学に補助を。

答 通学費に助成すれば下宿にもということになる。公平性というところがあるので、今のところ出せない。奨学資金制度があるので活用してほしい。

問 雄物川高校への通学バスが老方始発のため、宿地区は大変不便である。大琴始発にできないか。

答 せっかく用意しても乗らないこともある。今のところ三年生が二人だけの実態であるが、要望だけはしていく。

問 町有地の開田や開畑の、地籍調査後の処理は。

答 いろいろなケースがあり、整理はしている。パターンを定め、議会とも相談しながら知っている人がいるうちに整理する予定だ。

問 大琴小の今後の方向を。

答 教育委員とPTA役員との懇談会、アンケートの結果では、総じて統合できないだろうかということだが、いろいろな強い条件もある。今、一学級の人数を少なくする傾向にあり、一番のベターは何であるかの議論も必要。保護者と地域の合意のことを心配しながら、今後何回か話し合いをもちたいと思っている。

問 町民プールはどういう利用方法にするのか。

答 公民館管理にすれば一般も使える。基本的には有料だが、中学校は免除扱いとすることになると思う。

問 鮭が石沢まで遡上してき



▲宿分館座談会（1月8日）

たそうだ。東由利まで来るように魚道整備できないか。

答 東由利にも遡上してきているそう。今年は真木田堰頭首工の改修をするようになってくる。

問 大琴水道の改修状況は。

答 配水池は十一年度にやることにしている。

問 三代ゲートボール大会を創設してもらえないか。

答 公民館が主催者になるよりも、自主的なやり方にもっていききたい。主催が協会、後援は公民館という形で。

宿河川公園の今後の計画予定は

確定申告はお早めに

申告相談は二月十日から始まります。申告は住みよい地域づくりのための貴重な財源となる町民税・国民健康保険税を算定するときの重要な資料。また、本庄税務署での確定申告の受付は二月十六日から三月十五日（個人の消費税込申告期限は三月三十一日）までとなっています。病気や高齢等で申告会場にどうしてもいけない場合は、税務課（☎69-2111）まで。

**所得税の確定申告は2月16日から3月15日まで
個人事業者の消費税及び地方消費税は3月31日まで**



A. 当日になつて混乱しないように早めの準備を。おおくね次のような書類が必要です。

Q. どんな書類が必要でしょうか？

A. 申告が必要な人は①平成十一年一月一日現在、東由利町に住所のある方で、平成十年中に所得（収入）があった方。②給与所得及び雑所得（公的年金など）のある方で、それ以外に営業、農業、不動産（家賃、小作料など）の所得があった方。③平成十一年一月一日現在、町内に事務所、事業所のある方などです。

- 【申告するすべての方は】
 ▼申告書▼印鑑▼生命保険料・個人年金保険料・損害保険料の支払証明書▼医療費の領収書（寝たきりで医師が交付した「おむつ使用証明書」のある方はおむつ代も含まれます）▼健康保険証など家族の生年月日が分かるもの（家族に障害がある方がいる場合は手帳など級別がわかるもの）▼住宅特別控除を受けている方（金融機関で発行する残高証明書と税務署より送付されている住宅取得等特別控除証明書）
 【給与所得のある方は】
 ▼源泉徴収票
 【雑所得のある方は】
 ▼公的年金などを受給している方は源泉徴収票
 【農業所得のある方は】
 支出した必要経費がわかるもので、主に次のようなもの
 ▼農機具購入証明書

平成11年申告相談日程表

月	日	曜	午前（受付9～11時）		午後（受付1時～3時）	
			自治会名	申告会場	自治会名	申告会場
2	10	水			沼・杉森	杉森会館
	12	金	船木・畑村・奥ヶ沢・土場沢	高瀬館	高屋・宿・下吹・大台	高瀬館
	15	月	大琴（上）		大琴（下）	
	16	火	小倉	克雪センター	中ノ沢・高村・桂台	克雪センター
	17	水	野田・新処		十二ノ前	
	18	木	横渡・島	大蔵館	蔵・黒沢	大蔵館
	19	金	岩館・宮ノ前		蔵新田	
	22	月	寺田・茂沢・祝沢	役場会議室	湯出野・上里	役場会議室
	23	火	上通・横小路		下通・中通	
	24	水	新町（1～3組） 営業・その他事業	有鄰館	新町（4～7組） 営業・その他事業	有鄰館
	25	木	家ノ下・八日町	玉米会館	宇戸坂・館西・五海保	玉米会館
	26	金	下小路・新沢・松柴		山崎・久保・板戸	
3	1	月	館合新田（上）・須郷田	袖山館	館合新田（中・下・跡見坂）	袖山館
	2	火	大吹川・須郷		袖山	
	3	水	向田・智者鶴	八塩館	泡ノ瀧	八塩館
	4	木	黒瀧		地下ノ沢・葎沢	
	5	金	石高	田代福祉館	田代	田代福祉館
	8	月	高戸屋・下小屋・時雨山			
	9	火	所得税	有鄰館	所得税	有鄰館
	10	水	〃		〃	

☆当日都合が悪いときは、他の会場でも受付いたします。その時は税務課までご連絡願います。
 ※病気や高齢などで申告会場にどうしてもいけない場合は税務課までご連絡ください。
 ◎その他申告に関するお問い合わせは役場税務課へ！
 東由利町役場税務課 ☎69-2111（直通）

- （大農具）▼農業用自動車売買契約書▼賃耕、賃刈などの領収書及び雇用費用明細書（領収書）▼農業用自動車任意保険領収書▼農機具の修理費（一機種五万円以上）▼制度資金の利子証明書（JAで発行）など
 【営業所得のある方は】
 ▼収入・支出の明細がわかる帳簿や関係書類
 【大工・左官及び日雇いの方は】
 ▼年間の稼働日数証明書（月別仕事先と賃金の明細）▼大工・左官で請負仕事の場合は①機
 械・器具（道具）の購入または修理の領収書②事業用自動車の売買契約及び燃料費・修理費・税金（自動車税・重量税）・車検経費の領収書③請負工事ごとの損益計算書④全国建設工事業国保の保険料領収書など
 【譲渡所得のある方は】
 土地・建物などを売った場合
 ▼譲渡した物件にかかる売買契約書、または売買価格の証明できる書類▼譲渡費用（仲介手数料・測量費など）の領収書▼登記済の場合には登記簿など

出初式に一年の無火災祈る

今年一年の無火災を祈願すべく、一月六日にげんき館で平成十一年消防出初式が行われました。
出初式は消防に従事する者が正月に出揃い、無火災などを祈るもの。当日は、畠山勉団長をはじめとする町消防団員、婦人消防隊員、町関係者など三百余名が出席しました。



平成11年東由利町消防出初式

式典では、阿部幸悦町長が薬玉を開放後、畠山消防団長、石綿副団長ら幹部が団員を観閲しました。

表彰状及び感謝状贈呈では、秋田県知事、消防団長、町長がそれぞれ勤続団員、模範団員などを表彰しました。

町長告示では前年の町行政の総括、災害状況などにふれた後「昨年は大雨、カミナリによる火災など自然の恐ろしさを実感した。ますますの精進と健康を祈りつつ、無火災を祈願したい」と告示、その後畠山団長が「災害は忘れた頃にやってくる。団員も仕事を持ちながらの消防活動ではあるが、地域住民の財産を守るべくがんばってほしい。また婦人消防団の協力に感謝する」と訓示を行いました。

来賓祝辞後、無火災を祈願すべく式出席者全員が万歳三唱を行い、式を閉じました。
消防団員の皆さんは、健康に気をつけて、消防活動にがんばってほしいものです。

日本の元気は地域から

地域振興券の交付が行われます

地域経済を元気にするために、町から地域振興券が交付されます。

★交付額は1人につき2万円です。

15歳以下の児童がいる世帯主の方については

児童1人につき2万円です。

★町登録の店舗などでお使いいただけます。

★額面は1,000円、お釣りはもらえません。

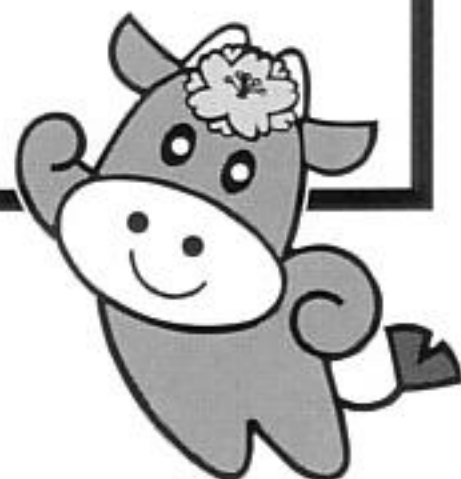
★有効期間は交付開始日から6カ月以内です。

●交換・譲渡・売買はできません。

●使用できるのは交付対象者ご本人、
またはその代理人・使用者の方に限ります。

交付は3月10日に一斉に行います。

問い合わせは役場企画課(69-2113)



対象となるのは次の方です

平成11年1月1日において以下のいずれかの要件を満たす方です。

① 15歳以下の児童がいる世帯主の方

② 老齢福祉年金等の受給者等

① 次のいずれかの年金、または手当を受給できる人

- ・ 老齢福祉年金・障害基礎年金等・遺族基礎年金等
- ・ 児童扶養手当・特別児童扶養手当・特別障害者手当
- ・ 障害児福祉手当・福祉手当(経過措置分)
- ・ 原子爆弾被害者諸手当

② 生活保護の被保護者、社会福祉施設の措置入所者など

③ 65歳以上の町民税非課税の寝たきりの方

ただし、本人が扶養されている場合は、扶養者が町民税非課税の場合に限られます。

④ 65歳以上の個人の町民税非課税の方

ただし、本人が扶養されている場合は、扶養者が町民税非課税の場合に限られます。

消防出初式 表彰状・感謝状贈呈者

被表彰者は次のとおり
【敬称略】

■秋田県知事表彰 ●有功章

副団長 石綿喜代隆
副団長 阿部陽悦

●二十年勤続表彰

▼本部長 三浦良男▼第一 副
分団長 長谷山喜悦▼第二 団員
阿曾寛二▼第二 団員 畠山芳
一▼第三 分団長 畠山金悦▼
第三 団員 小野源一

■秋田県消防協会会長表彰 ●勤続章（十五年）

▼第二 班長 高橋春雄▼第二
班長 佐藤貴志▼第二 団員
小松仁▼第三 班長 小野源行
●勤続章（十年）

▼第一 団員 横山茂▼第二
団員 佐藤茂一▼第二 団員
高橋正▼第三 団員 小松秀榮
▼第四 班長 遠藤勝▼第四
団員 遠藤茂▼第四 団員 阿
部重樹▼第四 団員 伊東寛▼
第五 班長 佐々木善永▼第五
団員 佐々木幸浩

■東由利町長表彰 ●模範団員

▼第一 渡辺利宏▼第二 小野
久一▼第四 遠藤清▼第五
佐々木興▼第五 佐々木直▼第
五 小野正志▼第五 小野裕明

■東由利町消防団長表彰 ●甲種精勤章

▼第二 団員 高橋寛▼第二
団員 大場惣晃▼第三 団員
阿部賢▼第四 団員 畠山鋼
▼第四 団員 木島宏▼第四
団員 遠藤賢志▼第五 団員
遠藤育英
●乙種精勤章
▼第五 団員 遠藤正人▼第五
団員 佐々木良一

■東由利町長感謝状

退職団員 前分団長 遠藤幸男
退職団員 前班長 小野泰好
退職団員 前団員 遠藤寿幸
退職団員 前団員 伊東隆
退職団員 前団員 浅田一夫

第一回 議会臨時会 一月二十日招集

第一回議会臨時会が一月二十日に招集され、山村振興等

農林漁業特別対策事業（小規模土地改良事業）の施行案など、議案三件を原案どおり可決しました。
主なものは次のとおり

●議案第一号 山村振興等農林漁業特別対策事業（小規模土地改良事業）の施行
平成十年度から十一年度まで毎年度予算の定めるところにより、かんがい排水（用水

路）工事を行うもの。
事業量／八路線、三、〇三〇m。事業費／六千二百五十万円。

●議案第二号 平成十年度東由利町一般会計補正予算（第六号）
九千六百三十七万八千円を追加し、歳入歳出の予算総額を四十七億六千八十一万六千円としたもの。
主な補正予算内容は、地域振興券交付事業費二千九百九十四万円など。
交付対象者は約千四百人。交付、使用開始は三月十日。

町長日記

町政座談会

恒例になっております新春町政座談会を、今年も正月四日から八日にかけて公民館分館の役員の皆さんにお難儀をかけながら七地区で催したことです。

この会は新年会もかねた座談会になっており、十日までには終わりたい、というところもあり、私たちは午前の部午後の部と分けて一

日に二分館の座談会に出席ということもありました。

座談会が終わってから即新年会で一杯ということになります。午後の部の分館はいいのですが、午前の部の分館ではなかなか時間が長くなりやりにくく、人の集まりも午前中では難儀だということでもあります。こういうことが毎年繰り返されていたのですが、今年をもってこの順番を申込順という事でなく、前もって分館長さんたちが話し合っ

たようです。

何の会もそうであります。が、大勢の皆さんに集まってもらうということとはなかなか難儀なことでもあります。いつもこの役割を一手に引き受けてくれます各分館役員の皆さんには改めて心からお礼を申し上げます。

お蔭様で今年もいい座談会になりました。
まず私から昨年の総括をさせていただき、心配なところ、課題を申し上げ、その取り組みについて説明をしたところ。そして今年

取り組み何点かの重点施策について申し上げました。

特に第五十回秋田県植樹祭については、日取りも五月十三日に決まっていることでもありますし、この機会に私たちの自慢の「八塩いこの森」の「黄桜」を全県から来られる皆さんによく見てもらいましょうと強くご協力をお願いしたのであります。

ではその場で申しあげ、できなかつたものについては後で回答するということにしてもらいました。

町政努力は十分評価してくれてのうえで、もう少しなんとかしてというご要望ご意見が多くなってきました。ますますの頑張りとお協力をお願いしております。
今年もまず健康が第一です、と締めくくりながら座談会を終え、短い時間ですが新年会にも参加して参りました。

日常を離れ南半球の大陸へ

大内町・南外村・東由利町海外合同研修（オーストラリア）報告

東由利町・大内町・南外村合同の海外研修が十一月二十日から二十六日までの七日間の日程で行われました。

今回の研修に参加したのは町村合わせて十六人です。本町からは男女計七人が参加、それぞれが見聞を広め、日常とは違う異国の雰囲気を感じたようです。

南半球最小の大陸オーストラリアから、無事帰国した研修生のうち、団長を含めた三人の研修生レポートを紹介します。

研修旅行に参加して 研修団長 佐藤公男

オーストラリアというと、広大な草原に羊や牛が放し飼いられているイメージが浮かびます。豊かな自然の中で育った牛が東由利の牛肉と比べ、どんな味がするか楽しみです。

オーストラリアのレストランでさつそくステーキを注文しました。出て来たステーキを切って口にすると、どうもあっさりとして物足りなく、サシが入っていない赤身の肉で、日本のサシが入った肉を食べている口には、物足りなく、やっぱり由利牛は世界一ではないかと感じました。むこうでは牛肉など毎日食べているので、健康のため脂肪の少ない赤身の肉が好まれているようです。食事バイキング方

式が多く、ついあれもこれもと食べすぎて、帰るころには自分の体脂肪がたつぷりと体についてしまいました。街を歩くと、日本のようにくわえタバコをしている人がおらず、日本に比べて喫煙している人がかなり少ないようです。街には吸殻が全く落ちていません。

各家庭は、庭に花を植え、週末は花の手入れなどをして休日過ごし、夏は庭でバーベキューをやるのが一般的な休日の過ごし方だそうです。

オーストラリアは国も広大ですが、日本とくらべ生活も心も豊かに思われます。

オーストラリアは農業国でもあり、観光国でもあり、観光先やホテルでは私のつたない英語でも、親切に明るく自信をもって応対してくれました。むこうで大学生と知り合いましたが、むこうの大学では日本語学科などもあるそうで、日本に

関心ある人も多く、来年は日本に留学するのでよろしくとあいさつされました。

今回の研修では、今まで東由利にいれば分からない他国の文化や社会の価値観など多くのことを学び、また大内町や南外村の人々とも親しくなれたことも大きな収穫でした。

東由利町では、これから海外研修を続けて、町内の若い人には、東由利町だけで育った文化、価値観だけでなく、海外の異なった文化、価値観をみんなにも体験していただきたいと思います。将来の自分の人生に直接役にたてる様あなたも視野を広げようではありませんか。



▲団員たちの楽しいひととき

▲コモハウス前での記念撮影



海外の異なった文化

価値観を実感



▲オリンピックメインスタジアム前で研修生一同記念撮影

研修旅行に参加して

小野久隆

先日のAPECで、日本は林産、水産物の関税引き下げ撤廃の拒否に対し、アメリカとオーストラリアは恫喝外交^{どうかつ}をしていたが、オーストラリアの現代社会がどのようなのか関心があり参加しました。

添乗員の説明では、残業がほとんどないそうで、労働八時間、休息八時間、睡眠八時間の意味を表わすシンボルタワーを見ました。夕方、メルボルンやシドニーの街を歩いていると、まだ明るく人通りも多いのに五時半か六時になると一般の商店はキッチリと店を閉めはじめ。物価も農産物以外は日本と同じか高いくらいだ。飲食店は遅くまでやっているから余暇の時間はゆつくりある。日本では規制緩和、価格破壊など大企業の大形店が進出しやすいようにされ、個人商店など衰退していく一方なのとは対称的だ。

農産物の桃やりんごなどは日本の半分の大きさしかない品種だ。米もとてもまずい。しかし、まずくても日本の外食産業などブランド用に需要があるし、最近ではオーストラ

リアでも日本向けにコシヒカリを輸出したし、緑茶も栽培している。すでにアメリカ産あきたこまちが輸入されJRの弁当に使用されているし、春に新米が穫れるオーストラリアは日本の農家にとって脅威だ。

現在、来年の春から米の自由化(関税化)が検討されているが、自由化になったら初年度は高い関税でもコシヒカリの遺伝子組み換えの特許を持つアメリカやオーストラリアに前回、林、水産物で恫喝されたように、毎年関税引き下げ撤廃を求められるのは見え見えだ。それぞれの国は、自国の得意な分野では相手国に規制緩和や自由化を求め、

自国に不利な分野はダンピングだとか文句をつけて規制し、自国の国益を守っている。

街や駅を歩いていても、タバコやアキカンのポイ捨てがほとんどなく、テレビも人はいじめて笑いをするような番組もなく、治安は日本の都市よりも良さそうで、道徳教育もしっかりし、表現の自由などの名のもとに、視聴率や金のため、何でもありで犯罪が増加している日本とは大きく違う。白人にとってはオーストラリアはとても生活しやすい国に感じられました。

日本とは異なる社会の価値観など知ることができ、良い体験となりました。(レポート次ページにつづく)



▲メルボルン市のセントパトリック大聖堂

研修旅行に参加して 畠山真由子

平成十年十一月二十日、東由利、大内、南外の三町村合同海外研修がありました。私は以前から海外へ行ってみたいと思っていたのですが、今回の海外研修に参加するにあたり、初めてということでも不安になり迷っていたのですが、周りの皆さんの勧めもあり参加させていただきました。



▲ブルーマウンテンのスリーシスターズ奇岩前で

最初にいったメルボルンでは、有名なセントパトリック大聖堂や、迷ってしまいそうな広い公園がありました。

そして今回の研修の目的、福祉事情視察先のビューバンクガーデンコミュニティセンターのリタイアメント・ビレッジにも行きました。

はじめは日本の老人ホームのようなところだろうと思っていたのですが、一人ひとりが家を購入して、自立した生活を送っているという形でした。その家をユニットといい、全部で五十二ユニットあり、六十八人の人達が生活しています。夫婦で生活している人たちもいました。

そこは、二週間に一回、ホームヘルパーが来て、清掃をしてくれたり、希望すると食事（一日一回）を宅配してくれたり、緊急体制もよく整っており、そこに入所する人たちのほとんどが、孤独を感じず、安心して人生を最後までエンジョイできるといふ目的で入っているそうです。

庭には花をたくさん咲かせ、家の中もきれいに飾り、とても生き生きしていて、私が六十代になるころには、日本にもリタイアメント・ビ



▲リタイアメントビレッジ内の研修

レッジのような所があればいいなと思いました。

そして、シドニーでは、二〇〇〇年のオリンピック会場やオペラハウス、特に夜に見たオペラハウスがとても印象に残っています。

それから、ブルーマウンテンのスリーシスターズはある三姉妹があまりに美しいため、父親が岩にしまったという話も印象に残りました。

今回の海外研修に参加してみても、一人ひとり個性の違う人ばかりでしたが、とても楽しかったし、勉強になったこともあり、この出会いを大事にしたいと思いました。

東由利町障害者計画

ともに生き、ともに喜びあえる町づくりの実現を目指して

近年、障害者を取り巻く環境は大きく変化し、福祉ニーズも多様化しています。障害のある人も住み慣れた地域や家庭で生き生きと生活できる社会を築くために、東由利町では障害者計画を策定しました。

町民一人ひとりが障害及び障害者について正しい認識を持つとともに、障害者が日常生活や職場で働きやすい環境を整備していくために、年齢に応じた教育や機能訓練、雇用の確保等の具体的な施策、そのための社会環境の整備を基本目標とし、次の8つのキーワードから施策の重点的推進を図ります。

(1) 啓発広報活動の推進
やさしい心を育てるためにも幼少時から保健福祉教育や交流活動をすすめる、人間として平等な社会への認識を深めるために啓発広報活動を推進します。

(2) ボランティア活動の推進
障害者が自立して生活するために手助けが必要であり、ボランティア活動を支援します。

(3) 相談体制及び情報の提供体制の整備
(福祉課・福祉係)

社会的に不利な条件を克服するため、それぞれの障害に応じた機器の活用や体制の整備を推進します。

(4) 保健・医療・福祉サービスの充実
障害は発生を予防することが基本であり、早期発見と障害の軽減、機能の回復を図るための施策を展開します。また、自立するための福祉サービスも充実させるよう努めます。

(5) 教育の充実
社会的に自立できるように一人ひとりの可能性を最大限に伸ばすための教育や訓練の場を提供するよう努めます。

(6) 雇用・就業の促進
障害者や高齢者が仕事に就いて、一般雇用はもとより、福祉的就労によりその能力を発揮できるような施策を展開します。

(7) レクリエーション及び文化活動の推進
障害者の体力向上の観点からも、地域との交流を大事にしながら様々な活動に参加できるよう環境づくりやボランティアの育成を推進します。

(8) 障害者や高齢者にやさしい町づくりの推進
生活の拠点となる住宅や道路、公共施設の整備は障害者や高齢者にやさしい町づくりを推進します。

(福祉課・福祉係)

人権擁護委員決まる

平成十年十二月十四日付で任期満了となった人権擁護委員がこのたび法務大臣から新しく委嘱されました。

今後三年間皆さんが生活していくうえで困りの家事、民事など（差別、信用問題、土地建物の権利、いじめ、登校拒否）日常の困りごとのご相談に応じます。

なお、委嘱された新人権擁護委員は次の皆さんです。

新しい人権擁護委員はわたしたちです



青木榮子氏
(田代)



小松丈介氏
(横小路)



佐藤恒悦氏
(館西)

標準賃金一万九千円

町建設技能組合（阿部悟組合長）では、平成十一年度の標準賃金を一万九千円と決めました。

この標準賃金は、去る十二月六日、秋田市のさとみ温泉で行われた技能センター運営委員会で決定されたものです。また、技能組合では毎年恒例の奉仕作業を二月五日に行う予定です。

道路沿線スギ林の手入れ運動展開中！

本荘由利管内には県内外から多くの人が入ってきており

かつては、全国に名を馳せた秋田スギの美林は枯渇し、人工秋田スギ時代になってまいりました。

しかし、木材価格の低迷などにより、枝打ち間伐などへの取り組みが不十分なため、美林といえる林が少ない現状です。

近年、高速交通体系の整備、県立大学の設置などにより、ますます人の交通が多くなるものと予想されます。

そこで、当管内の秋田スギの

イメージアップを図るため、道路沿線にあるスギ林について、手入れの実施運動を展開中であります。

勝男・三浦光喜・伊東健市（電話 24-4141）
【子吉川流域
林業活性化センター】

道路沿線のスギ林をお持ちの皆さんには、下草刈り、蔓はずし、枯枝打ち、間伐などの手入れを実施していただき、当管内の秋田スギのイメージアップ作戦にご理解、ご協力くださいますようお願いいたします。



▲道路沿線のスギ林を守り、イメージアップを

木材共販市況

（平成十一年一月・平均価格）
四五年生から五五年生

径 級	単価（石）	備 考
30cm上	—円	
24~28cm	4,600円	乾燥材4,800円
14~22cm	4,400円	乾燥材4,700円
13cm下	2,600円	
曲り材	2,000~2,500円	

14~22cmの経級に量産工場の手当てが入った。乾燥材の出品もあり、久々に落札率69%。しかし、中目土の生材については、材の吟味が厳しい

林業 加工木材と 空気汚染

最近住宅内の空気汚染が問題になっていきます。特に揮発性有機化学物質（VOC）による健康への影響に関心が高まっています。

VOCは世界保健機構で定義している揮発性の物質のことで、これに該当するものとして問題視されているのは、木材を加工するときに用いられている接着剤に配合されているホルムアルデヒドです。一般的にホルマリン（ホルムアルデヒドが水に溶けたもの）とい

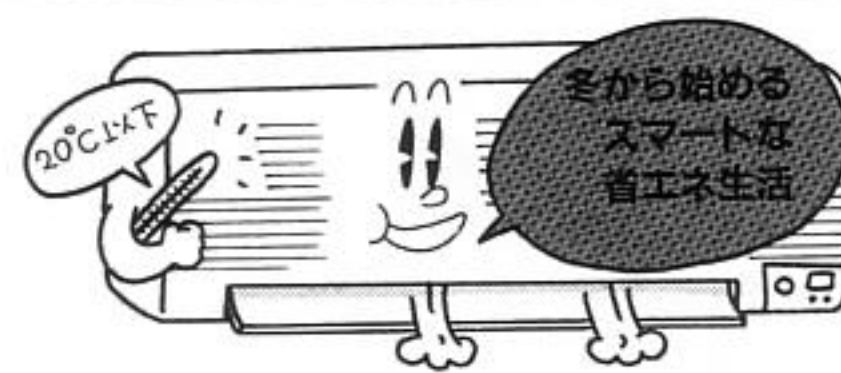
っています。

住宅の新築や改築に使用される合板や集成材などの木質建材や床組材、外壁の構造材の腐朽や蟻害予防に塗布する塗料からVOCが発生するといわれています。

この揮発性物質に対して鋭敏な人、アトピー性またはアレルギー性体質の人、乳幼児のいる家庭では、材料の選択にはホルマリン揮発の少ない材料を選ぶとか、住宅設計には通風と換気への配慮が大切です。

（町林業懇話会会長

佐藤恒悦氏）



一段と冷え込みが厳しくなる2月。でも寒いからといってエネルギーの無駄遣いは禁物。

- ①暖房温度は20℃以下に
- ②電気こたつは熱を逃がさないように
- ③エネルギー消費効率を目安に購入

迅速な災害防御活動に期待

新消防自動車が三分団に



▲積載車を前に引き継ぎ式が行われた

十二月二十二日、町が購入した小型動力ポンプ付積載車が三分団に引き渡されました。旧積載車が老朽化したため、この度更新されたものです。当日は第一、二、三分団長はじめ班長、団長など十名が役場車庫前に参集、無事引渡しを完了しました。この積載車は、建物、山林の火災、その他の災害に対処できるように各種機器材を搭載、迅速な災害防御活動を目的としているもの。新しい積載車を前に、団員は気持ちを新たに防災を誓いました。

冬の運動不足の解消を

家庭バレー交流大会



▲優勝したミルキーの皆さん

昨年十二月より開催されていた家庭バレーボール交流大会が一月十三日に全日程を終了、ミルキーが優勝を飾りました。また準優勝にギャルズ、三位にタウンオフィスBがそれぞれ入賞しました。この大会は、冬期間の運動不足解消とメンバーの交流を深めようと毎年行われているもの。全部で八チームが参加、熱戦を繰り広げていたものです。参加者は来年も元気に大会へ参加できるよう誓っていました。

環境を考える身近な指針に

環境文庫が東中に寄贈



▲小川校長から図書を受け取る佐藤君

一月十八日、本荘法人会から東由利中学校に「環境文庫」が寄贈されました。これは、同会が社会貢献活動の一環として今回初めて実施する事業で、本荘由利の中学校十五校に環境問題に関する図書を寄贈するもの。「子どもたちが環境問題について学び、環境を保護するための行動力をつける」目的で始まりました。二十一日には、小川校長から生徒代表の図書部佐藤浩司君が図書を受け取りました。環境問題は今後の課題。しっかり学んでほしいものです。

地域ができる教育とは

宿分館ボーリング大会



▲宿分館が行ったボーリング大会

一月十四日、宿分館主催によるボーリング大会が本荘で行われ、宿分館の親子など四十余名がボーリングを楽しみました。このボーリング大会は、冬の運動不足解消と、宿分館、親子の交流を目的に行われており、今回で四度目の開催。参加した皆さんの間からは、ストライクが出るたび喜びあふれた歓声が飛び交っていました。地域として、児童にどんな教育が出来るのかが叫ばれている中、宿分館の今後の取り組みが期待されます。

町のあっち、こっちから

大平で小中スキー選手奮闘

小中郡市スキー大会開催



▲大会に先立ち長沼くんによる力強い選手宣誓

一月十七日、第四十二回本荘市由利郡中学校スキー大会、第三回本荘市由利郡スポーツ少年団種目別交流会スキー競技が大平スキー場で行われ、関係者および小・中学校の選手ら二百余名が参加しました。

当日は、風が吹く曇り空。選手たちは自分の持てる力を発揮とばかり全力で大回転などのスキー競技に興じていました。

なお結果は次のとおり。(敬称略)

- 本荘市由利郡中学校スキー大会結果
- ▼回転中学校女子…①畑澤由恭子(直根) ②佐藤真理子(矢島) ③眞坂若菜(直根)
 - ▼回転中学校男子…①佐藤琢玲(直根) ②三船隆幸(川内) ③高橋亮(川内)
 - ▼大回転中学校女子…①村上可奈子(直根) ②佐藤真理子(矢島) ③畑澤由恭子(直根)
 - ▼大回転中学校男子…①佐藤琢玲(直根) ②三船隆幸(川内) ③高橋亮(川内)

■本荘市由利郡スポーツ少年団種目別交流会スキー競技結果

- ▼スポ少四年女子…①佐藤西(直根) ②佐藤忍(東由利) ③佐藤まゆ子(矢島)
- ▼スポ少五年女子…①本多恵美(川内) ②藤山雅子(直根) ③赤川里菜(笹子)
- ▼スポ少六年女子…①鈴木翔子(東由利) ②佐々木香織(東由利) ③眞坂晴美(直根)
- ▼スポ少四年男子…①眞坂信之介(直根) ②小松悠(石沢) ③眞坂錦司(直根)
- ▼スポ少五年男子…①豊島拓(矢島) ②高橋将也(東由利) ③眞坂隆博(直根)
- ▼スポ少六年男子…①長沼敬晴(東由利) ②佐藤聡胤(矢島) ③佐藤伸幸(矢島)

古くからの遊びに興じる

新春囲碁大会



▲真剣に盤上で対峙した参加者

一月十五日、玉米会館で囲碁大会が行われました。これは毎年東由利町囲碁愛好会によって開催されているものです。

囲碁は、黒石を持つ者と白石を持つものが、縦横十九路三百六十一の交点をもつ盤上に交互に石を置いて、自分の陣地を取り合う古くからのゲームです。

参加者の皆さんは、リラックスした雰囲気の中においても、真剣に盤上で対峙していました。

衛星放送で東由利を全国へ

「おいニッポン」収録

二月十四日、午前十時から午後七時にかけてNHKBS2チャンネルで放送が予定されている「おい、ニッポン・今日はとことん秋田県」番組中で本町を紹介する「あきたのまちからメッセージ」の収録が一月十九日、湯楽里で行われました。十秒の作品を三本収録、十四日に一本を紹介、残り二本は順次衛星放送で紹介されるということです。

当日は、浅野竹美さん、黄桜温泉「湯楽里」の皆さん、そしてモウ太くんが出演、和気あいあいとした雰囲気の中、カメラに向かっていました。



▲和気あいあいとした番組の収録

東由利文化クラブ

みどり保育園児が各種絵のコンクールで頑張っています。

高橋宏幸賞童話感想画では最優秀賞であるメルヘン賞をはじめ各賞などの受賞、「心の中で描く未来の農業、生活の中にある動植物や農業」をテーマに県立農業科学館が主催した絵画コンクールでは二年連続の団体賞を、また、第三十九回秋田県児童生徒美術展では三人の児童が入選を果たすなどの活躍ぶりです。

「大人が受賞させようと絵の指導をした絵は、絶対入選しないよ

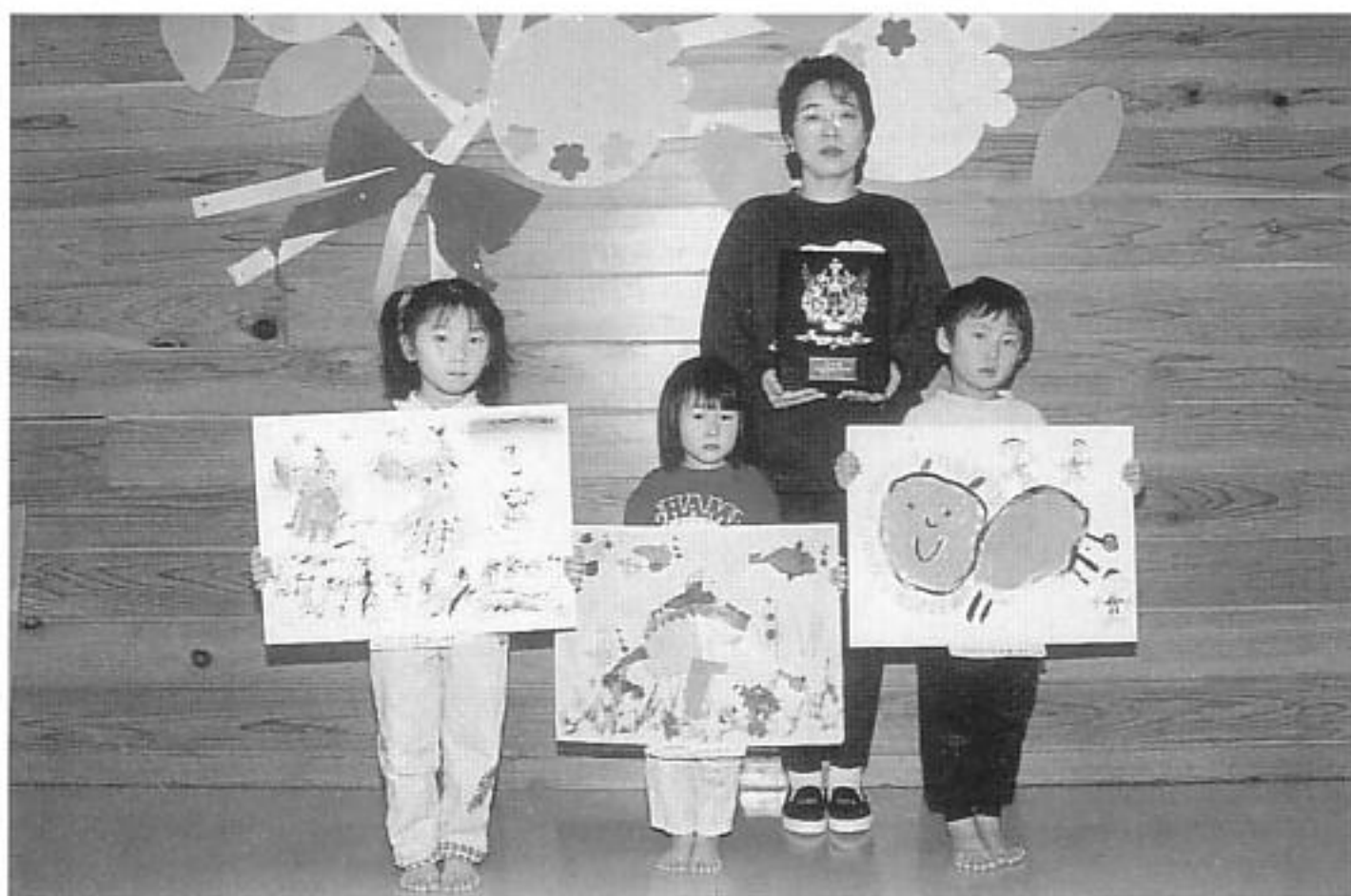
うですね」と話すのは同保育園畑山玲子さん。

「本人が描きたいものをのびのびと描いたものが入賞しているようです」と感じているとのこと。

また、同園として「特に絵についての指導はしていませんが、自然あふれるこの町での日常生活から、また、遊びの中から生まれる感性を大切にしていきたいと思います」と今野登和子園長が話してくれました。

今後なお一層の充実した活動が期待されます。

絵でがんばるみどり保育園児



▲喜びの今野登和子みどり保育園長と秋田県児童生徒美術展で入賞した渡辺知恵里さん、渡辺愛莉さん、斎藤慎平くんの3人（左から順に）



12月25日、交通指導隊がみどり、永慶保育園へクリスマス交通安全訪問に。

**写真でふりかえる
98クリスマス**
昨年末、様々なクリスマス会が町内各地で行われました。

東由利の文芸

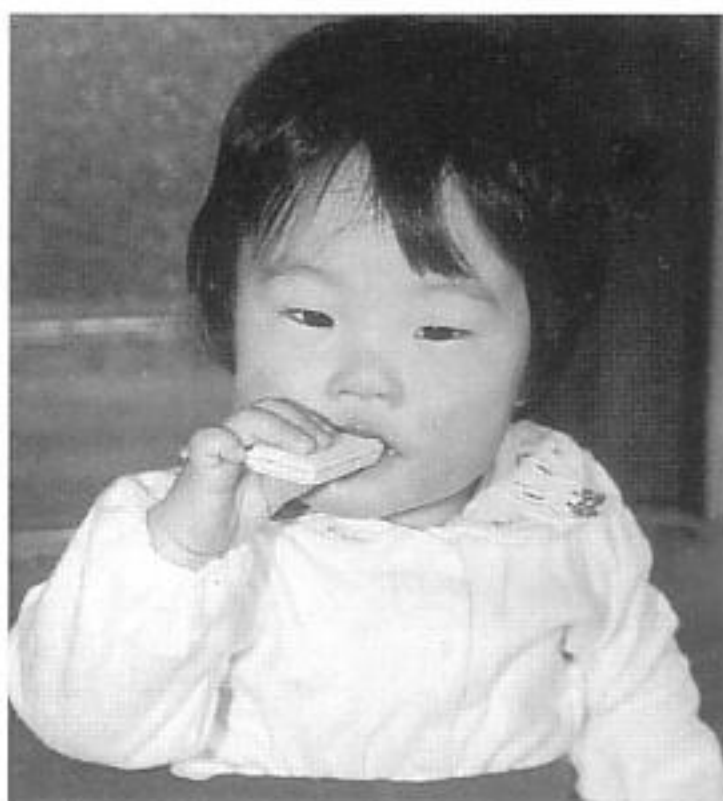
（せせらぎ句会）

輪飾りの幣あそばせて風駆くる
早々に華やぐ友と年祝う
まだ昏き庭の祠の初燈
頑丈に生きしがり取り柄初鏡
大声の返事がかえるお年玉
天日のしばらく注ぐ恵方かな
今朝の春空に番ひの鳶の声
初空に白き杓元引きしめて
若水をかみしめ卯年の小百姓

横小路 宮野源二郎
蔵 阿部 澄子
船 木 大庭喜右衛門
山 崎 小松 良子
蔵 新田 小笠原亮子
家ノ下 小松 正昭
横小路 小松 丈介
時雨山 吉川 葉子
小 倉 遠藤トミ子

みどり児は空見上げをり初詣
表札に孫の名加へ年立ちぬ
年新た米寿と老碌たまわりぬ
入選の山河の絵刷り初暦
長き足折り直したるお年玉
初山や干支の兎は恋の節
天空を余すことなく初菫
松結ぶ祠小さき屋敷神
漬石を一つはづして寒の入
トランプのやうに配れる賀状かな
知りつくしたる持山の松迎え
補聴器の電池を替えて年新た
吉兆の光をまとひ福寿草

久保 高橋 典三
蔵 新田 小笠原トミ
湯出野 小松 徳蔵
蔵 新田 小野 貞子
下小路 小松 メサ
舟打場 高橋民治郎
中通 小松順之助
湯出野 佐藤 正義
横 渡 高橋ヒデ子
五海保 嶽石 レイ
高戸屋 小松 敏雄
上 里 小野石路子
秋田市 嵯峨 義之



アイドルをさがせ!

ななこ
畠山菜々子さん（1歳）
お父さん：知也さん
お母さん：洋子さん
【中通】

お話し：洋子さん

名前は主人と二人で決めました。菜の花のようにやさしい子に
という思いを託しました。
かわいい笑顔がチャームポイントの、いつも機嫌が良い元気な子どもです。
好きなものは、テレビの幼児番組。今好奇心旺盛で何にでも興味があるので、嫌いなものは特にな
いようです。
最近、立てるようになりましたので、そろそろ歩けるようになる
のでしょうか。
日中はおばあちゃん子、夜になるとお母さんになります。
今、病氣らしい病氣もしていないので、ずっと健康でいてほしい
ですね。将来は女の子なのでやさ
しく育ってほしいです。

永慶保育園で座禅会

一月十二日、永慶保育園で恒例の座禅会が行われました。座禅は「静かに結跏趺坐して無念無想の境地に入り、悟りの道を求める」べく行われているもの。静まりかえった蔵立寺の本堂、園児たちは背中向きで二列になり正座。園児たちの間を伊藤住職が警策をもってまわりました。日頃はにぎやかな子どもたちも、この日ばかりは神妙な面持ちで座禅をしていました。



▲神妙な面持ちの永慶保育園児

ボランティアをしてみよう

ボランティアをしてみよう

下郷分校一年生

小松 真弓



昨年の四月から始まった学校のクラブ活動も、もう一年が過ぎようとしている。

私はボランティアクラブに入り、おおむね月一回、東光苑でボランティアを行ってきた。

クラブ活動を通して、以前より

も福祉について興味を持つことができて良かったと思っています。また、夏休み中にも泊りがけのボランティアスクールがあったりと、断続的にはあるが、入学以来福祉に関わることができた。こういった活動は、将来福祉関係の仕事に就こうと思っている私にとってはいい経験になっている。

ボランティアをされていて難しいと感じることは、相手とのコミュニケーションのとり方である。特に言葉の不自由な方に対してはどうしていいかわからず、おろおろしてしまったり、何となくあつた。そんなときに、ただ笑顔でいた自分のことを思うと情けなく思える。

これからは苦手だからといって逃げたりせずに、少しずつコミュニケーションをとって、相手の方の伝えたいことを理解してあげられるように経験を積んでいきたい。



十二月二十三日、弁天ぼたの会によるサンタフェスティバルが道の駅で。

ふるさと むかしむかし

二十

番屋下のいさば屋さん

むかし、魚屋さんのことをいさば屋と呼んでいました。

明治の末頃、老方の番屋下で魚を商っているいさば屋夫婦がおりました。近所では、安いことなどもあって、「十文コ店」と呼びあいみんなに親しまれていました。

主人は毎日のように、小さな荷車を引いて村むらを通りお魚を売りに出かけます。売れゆきのわるいときは、八塩山の麓の方のむらまで車を引いて商いをするのでした。

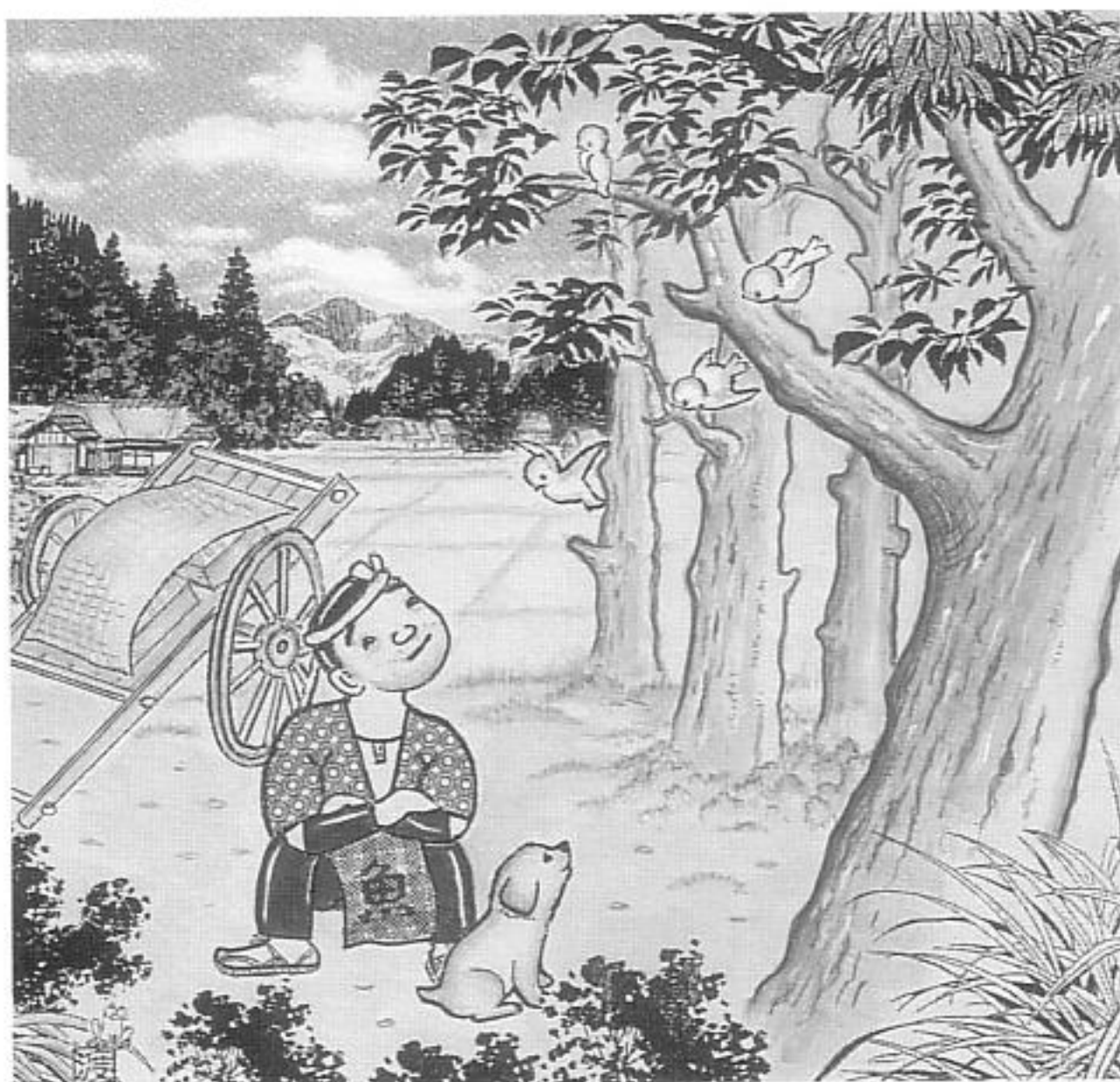
今日もいせよく、いさば、いさばアーと声を張りあげるのですが、思ったよりお客さんは集まってくれませんでした。がっかりした様子のいさば屋さんは、こんもり茂

った樹の下に腰をおろし、昼餉のときにぎりを食べていると、木もれ陽さす木の枝で小鳥たちは、チチチチ、チチツ、ピピイ、ピピイとさえずっていました。

小枝の方を見上げるいさば屋さんは、おにぎりをほぐし、ほおってやりました。小鳥たちは、チチチチツとさえずるようについばむのでした。すっかりこのきれいなさえずる音に聞きほれ、何んども何んどもめしつづをほおってやるのでした。

家に帰ったいさば屋さんは、晩酌のときに小鳥たちのさえずりを思い出して、「・・・そうだ、母さんや、これまでわしは、大声を張りあげるばかりで、もっとお客の気持ちを思う呼び声の工夫が・・・と、小鳥の人を引きつけるあのさえずりを語り合う二人なのでした。

そして、それからいさば屋さんの声は際立って、「・・・さかな さかなアー ナマイカのずるずるウー大きなイワシイワシイー 買ったリイ 買ったリイ 買わねば



ただ(無料)だア」

遠くまで響く、ユーモアのある澄んだ呼び声は、村むらの評判となり、商売は大繁昌したそうです。また母さんも商売上手で、店のかたわらで、ざっぱ汁の一杯屋もかね、お酒好きに喜ばれていました。

お正月近くの老方のまちは往來の人も多く、こうした中でも年一度のお医者さんに支払う薬礼の日は、市場がたつほどのにぎわいを見せるのでした。

もちろん、いさば屋の「十文コ店」は、数人の店員を雇い入れても、てんてこまいの忙しさ、それこそ、押すな押すなの大繁昌ぶりだったということです。

「文・佐藤祐一氏(老方)

絵・石渡力造氏



郷土の野草

東由利

NO.168

文・写真 小松忠正氏

コイケマ
(ガガイモ科)

植物図鑑などには関東以西、朝鮮半島や中国にも見られる、とありますが、本町でも見られます。(写真茂沢)

林縁の日当りのよい
湿り気の多い所に生
ます。根は黄白色で、
太く大きく、地上部
の茎は蔓性で細く、
葉には柄があって対
生につき、円心形で
元の部分は深く切り
こんでいますが、先
端はとがります。
七月頃淡黄白色の
小花を散形に多数つ
けます。茎葉ともに
切ると白い乳液が出
ます。
和名は生馬で馬の
薬からきたといいま
すが、イケマより小
形なのでこの名があ
ります。

2月▶データ東由利

〈12/1~31〉

住民基本台帳人口 () は前月比

■男.....2,541人 (0)
■女.....2,690人 (△2)
■計.....5,231人 (△2)
■世帯数.....1,392戸 (0)

() は1月からの累計

・出生1人(26)・死亡4人(56)
・転入10人(70)・転出9人(156)

■火災出動.....1件(2)
■救急出動.....10件(141)
■交通事故.....0件(7)
・死亡.....0人(0)
・傷者.....0人(8)
■飲酒運転.....0人(3)
■酒気帯び.....0人(2)

2月の行事予定

- 3 節分
7 大平スキー場お客さま感謝デー
10 下郷分校除雪ボランティア
11 建国記念の日
14 町民スポーツ祭・綱引き競技
20 雪まつり前夜祭(道の駅)
21 雪まつり(道の駅)
25 ことぶき大学
27 黄桜の里料理研修講座
28 第8回秋田県選抜雪上野球大会
(勤労者野球場)
28 女性シンポジウム(有隣館)



ほっとひといき

2月は行事が目白押し。14日に綱引き、28日に雪上野球大会。そして21日には、恒例の雪まつりが新しく生まれかわり、黄桜温泉「湯楽里」裏の残地を中心に開催予定。では、大平は?といえ、7日にスキー場お客さま感謝デーがあります。お楽しみに。雪国に住む以上雪を嫌うのではなく、楽しむことが大切かもしれません。さて、先日行われた県広報コンクールで広報ひがしゆり11月号が優秀賞を受賞しました。取材協力いただいた方に感謝します。(さ)

戸籍の窓口

(12月21日~1月20日届出)

●ご結婚おめでとう

鈴木紀貴さん
猪股友子さん
柿崎大さん
千葉優子さん
遠藤明さん
高野美八子さん
大日向幸博さん
柳橋忍さん

稲川町
下通
畑村
大琴
新処
本莊市
宮ノ前
西目町

●ごめい福をお祈りいたします

佐藤俊男さん(80) リエ・夫・蔵
千葉五郎さん(92) 康平・父・黒沢

地元産そばに舌鼓

●地元産そば試食会



▲町民の目の前で職人によるそば打ちが行われた

一月十八日、お食事処「やしお」において、町で初めて収穫したそばの試食会が行われました。限定百食のザルソバ試食に大勢の町民が訪れ、舌鼓を打ちました。みなさんの評価は「歯ごたえがある」「おいしい」など上々でした。
当日出されたそばは、町内の三農家が合計三アール分に試験的に作付け、収穫したそばを皆瀬村活性化センターで製粉化、同センター経営の「かえで庵」のそば職人が手打ちにしたものです。
「減反面積増加、農業従事者の高齢化に伴い新たな作物を」と、町では様々な施策を行っています。が、このそば栽培もその一環として行われたもの。町では「将来は特産品にできれば・・・」と期待しています。

まぶろ
社会福祉協議会に板垣悟さん(船木)、千葉康平さん(黒沢)、佐藤リエさん(蔵)、大沼武且さん(蔵)、小松徳一郎さん(下通)からご芳志が、また広報送付謝礼として、莊野敏雄さん(横須賀市在住)、佐藤仁志さん(秋田市在住)、小野四郎さん(西宮市在住)から金一封が、長堀愛子さんから正月用のお花が届けられました。ありがとうございました。

今月の写真スナップ



ギンガマン、虫歯予防のため出現! ~永慶保育園にて(提供:福祉課)